

1-1

文字書式を設定する



理解度Check

チェック項目	参照Lesson	学習前	学習後	試験直前
文字幅を設定できる。	Lesson1	✓	✓	✓
文字間隔を設定できる。	Lesson1	✓	✓	✓
隠し文字を設定できる。	Lesson2	✓	✓	✓

1-1-1 文字幅と文字間隔を設定する


How to

文字幅の設定

- ◆文字を選択→《ホーム》タブ→《フォント》グループの  →《詳細設定》タブ→《倍率》
- ◆文字を選択→《ホーム》タブ→《段落》グループの  (拡張書式)→《文字の拡大/縮小》
- ◆文字を選択し、右クリック→《フォント》→《詳細設定》タブ→《倍率》

How to

文字間隔の設定

- ◆文字を選択→《ホーム》タブ→《フォント》グループの  →《詳細設定》タブ→《文字間隔》
- ◆文字を選択し、右クリック→《フォント》→《詳細設定》タブ→《文字間隔》

解説

■文字幅の設定

「フォントサイズ」を使うと文字全体の大きさを変更しますが、「文字の拡大/縮小」を使うと文字の横幅だけを拡大したり縮小したりできます。文字には、初期の文字幅として、100%の倍率が設定されています。100%を超える倍率を設定した場合は横幅が大きく、100%未満の倍率を設定した場合は横幅が小さく表示されます。

効果的なプレゼンテーション

文字幅を130%に設定すると、横幅が大きくなる

効果的なプレゼンテーション

■文字間隔の設定

隣り合った文字の間隔を広げたり狭めたりすることができます。タイトルを1行内に収めたいのに、文字が余って次の行に送られてしまう場合などに調整するとよいでしょう。ただし、文字間隔を狭めすぎると、文字が重なり読みづらくなる場合もあるので注意が必要です。

効果的なプレゼンテーション

文字間隔を1.5pt狭くすると、文字同士が近くなる

効果的なプレゼンテーション

Lesson 1



次の操作を行きましょう。

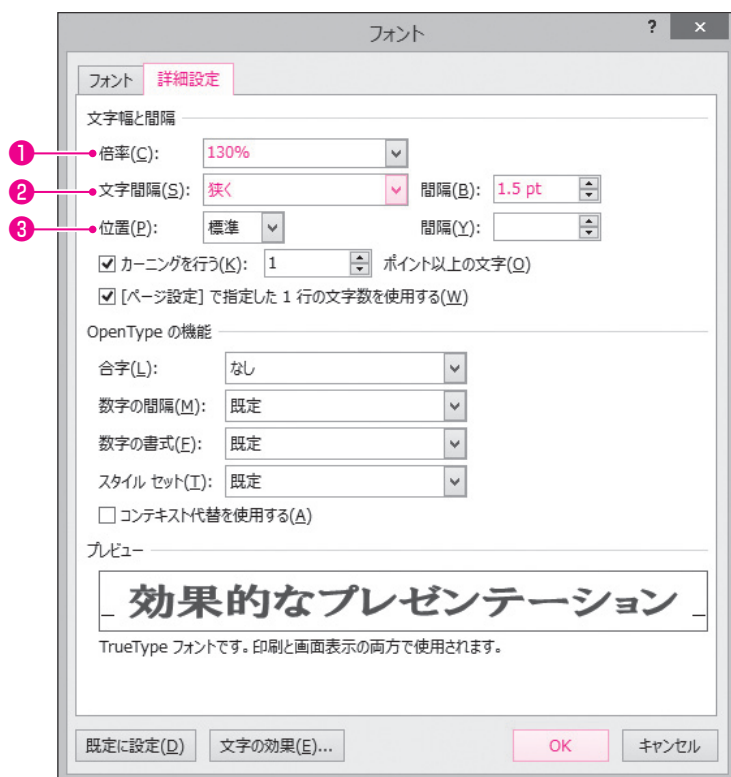
(1) 1ページ目のタイトル「効果的なプレゼンテーション」に書式を設定

文字幅 : 130%

文字間隔 : 狭く、1.5pt

(1)

- ①「効果的なプレゼンテーション」を選択します。
- ②《ホーム》タブ→《フォント》グループの  をクリックします。
- ③《詳細設定》タブを選択します。
- ④《倍率》に「130%」と入力します。
※「%」は、入力しなくてもかまいません。
- ⑤《文字間隔》の  をクリックし、一覧から《狭く》を選択します。
- ⑥《間隔》を「1.5pt」に設定します。
- ⑦《OK》をクリックします。



<結果>

効果的なプレゼンテーション

・1.プレゼンテーションの流れを確認する

・①プレゼンテーションの流れ

プレゼンテーションを設計して実施するまでの基本的な流れを確認しましょう。

①目的の明確化

プレゼンテーションの目的を明確にします。

②聞き手の分析

聞き手の興味や知識レベルなどを分析します。

Point

《フォント》ダイアログボックスの《詳細設定》タブ

①倍率

文字の横幅を指定します。1~600%の数値を指定できます。

②文字間隔

文字の間隔を指定します。

③位置

行内での文字の上下の位置を指定します。

Point

文字間隔の調整

句読点やかなの文字間隔を狭めて、文書全体の体裁を整えることができます。

◆《ファイル》タブ→《オプション》→《文字体裁》→《文字間隔の調整》